

「古典探究」シラバス

学科	普通科	学年	3 年	類型		組	1 ～ 4 組	単位数	2
使用教科書	精選 古典探究（第一学習社）								
副教材等	新明説総合古典文法（尚文出版）精選漢文（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1 学習の到達目標

①	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
②	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
③	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
主体的に 学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)グループワーク等での対話への取組 (2)発問に対する応答	
言語活動の観察	(3)言語活動への参加状況 (4)学びの関連付け、活用への取組	
課題などの提出状況	(5)リフレクションシートの内容 (6)長期休業中の課題 (7)日々の課題	
発表・報告	(8)ポートフォリオ (9)プレゼンテーション	
ペーパーテスト	(10)定期テスト (11)校内模試 (12)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	発心集	・ 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意し、展開や内容を的確に捉える。 ・ 主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。	(7) (8)
	枕草子	・ 様々な文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意し、構成や展開、内容を的確に捉える。	(9)
	源氏物語	・ 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・ 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	(9) (8)
	不顧後患 不死之道	・ 逸話という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。	(7)
	行行重行行 長恨歌	・ 漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・ 漢詩特有の表現に注意して、構成や内容を的確に捉える。	(8) (9)
二 学 期	無名抄	・ 本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。	(7)
	大鏡	・ 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。	(9)
	医薬談笑	・ 文語のきまりについて理解を深める。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	(7) (9)
	賢母辞拾遺	・ 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	(8)
	売柑者言	・ 諸子百家の文章をふまえて、古代中国の人々の超常的な存在に対する見方に触れる。 ・ 諸子百家の文章を読み、古代中国思想について理解する。 ・ 我が国と外国の文化との関係について理解を深める。	(7) (8) (8)
三 学 期	風姿花伝	・ 作品の成立背景や他作品との関係を踏まえて、内容の解釈を深める。	(7)
	玉勝間	・ 評論を通じてその時代に生きた人々の価値観や生き様を知ること、現代を生き抜く我々の智慧とする。	(8)
	讃岐典侍日記	・ 日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	(7)
	管鮑之交	・ 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	(9)
	張儀	・ 史記の列伝を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを深めることができる。	(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。